日医発第1117号(健Ⅱ)
令和５年９月２５日

都道府県医師会長　殿

日本医師会長
松　本　吉　郎
(公 印 省 略)

令和５年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

都道府県医師会におかれましては、平素より母体保護法の適切な運用にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

本会では、令和５年度家族計画・母体保護法指導者講習会を別添開催要綱・プログラムによりオンラインで開催いたしますので、ご案内申し上げます。

つきましては、本講習会における参加申込手続き等は、下記により行いますのでよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、会員の先生方へは日医ニュース（10月20日号）を通じてご案内する予定であることを申し添えます。

記

１．申込方法

・日本医師会ホームページより、受講者が個別に必要事項を入力し申込を行います。
日本医師会ホームページ「医師のみなさまへ」→「研修・ワークショップ・講習会を見る」→「令和５年度家族計画・母体保護法指導者講習会」へアクセス
URL：https://www.med.or.jp/doctor/work/traning_workshop/001946.html
※都道府県医師会で受講対象者を取りまとめた「受講者名簿」の提出は必要ありません。

・申込締切後に全申込者一覧を都道府県医師会宛てお知らせいたします。

２．申込締切

・令和５年１１月２０日（月）
※定員（800名）になり次第締切ます。

３．旅費

・代表者１名分の旅費を講習会終了後、全都道府県医師会宛に送金します。
金額：１６，０００円

４．研修証明（単位取得）について

・出席確認はWeb研修システムによる視聴ログにより確認します。時間に遅れてのログインや、途中で退席された場合は、単位が取得できないことがあります。

◆日本医師会生涯教育制度について

「全国医師会研修管理システム」に自動的に登録します。
参加者には、ＣＣ０（その他）２単位が付与されます。

◆日本産科婦人科学会単位について

産婦人科専門医の単位は、産婦人科領域講習２単位が付与されます。
講習会終了後に日本医師会より一括して申請手続きを行います。
※申込の際に産科婦人科学会会員番号の入力が必要です。

◆日本産婦人科医会研修参加証について

日本産婦人科医会の研修参加証は、医会シールを後日、本人宛に郵送します。

５．都道府県医師会事務局の傍聴について

・都道府県医師会事務局の傍聴用ＵＲＬ（当日のみ有効）および講演資料は、開催日の前日までに文書管理システムの「お知らせ」コーナーに掲載いたします。
・質疑応答はありません。

令和５年度家族計画・母体保護法指導者講習会開催要綱

１．目　的：母体保護法指定医師に必要な家族計画ならびに同法に関連する最新
　　知識について指導者講習を行い、母体保護法の運営の適正を期する。

２．主　催：日本医師会・こども家庭庁

３．開催日：令和５年１２月２日（土）

４．内　容：プログラムのとおり

５．開催形式：オンライン開催（日本医師会web研修システム）

６．参 加 者：（１）各都道府県医師会代表者（１名）
　　（２）医師会会員で母体保護法に関係する医師
　　（３）日本産婦人科医会会員

７．申込方法：日本医師会ホームページより受講者が必要事項を入力して申込む

８．申込締切：令和５年１１月２０日（月）
　　※定員（800名）になり次第終了

９．その他：（１）参加費は無料です。
　　（２）都道府県医師会代表者1名分の旅費を日本医師会で負担します。
　　（３）オンデマンド配信はいたしません。

10．研修証明（単位の取得）については以下のとおりです。
（１）日本医師会生涯教育制度単位：CC０(その他)２単位
　　「全国医師会研修管理システム」に自動的に登録されます。
（２）日本産科婦人科学会の単位：産婦人科領域講習２単位
　　講習会終了後に日本医師会より一括して申請手続きを行います。
　　※申込の際に産科婦人科学会会員番号の入力が必要です。
（３）日本産婦人科医会の参加証：医会シールを後日郵送します。

11．問合せ先：健康医療第二課
　　TEL　０３－３９４２－８１８１（直通）

令和５年度家族計画・母体保護法指導者講習会プログラム

日時：令和5年12月2日(土)　13：00～15：30
場所：日本医師会館（オンライン開催）

１．開会（13：00）　　司会:渡辺　弘司(日本医師会常任理事)

２．挨拶（13：00～13：10）
日本医師会
こども家庭庁
日本産婦人科医会

３．講演（13：10～15：30）
座長：渡辺　弘司（日本医師会常任理事）

テーマ「新たな潮流のなかで母体保護法指定医師が取り組むべきこと」

（１）経口中絶薬に関する課題点について（仮題）（50分）
石谷　健（日本産婦人科医会常務理事／医療法人社団こうかん会日本鋼管病院産婦人科部長）

（２）刑法及び刑事訴訟法改正のポイント－母体保護の観点から－（仮題）（40分）
水谷　歩（日医総研主任研究員／弁護士）

（３）総括および日医モデルの改定に向けて（30分）
落合　和彦（日本医師会母体保護法に関するWG委員長／東京都医師会理事）

（４）指定発言－行政の立場から（最近の母子保健行政の動き）（仮題）（20分）
木庭　愛（こども家庭庁成育局母子保健課長）

４．閉　会（15：30）